

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】令和2年4月23日(2020.4.23)

【公表番号】特表2019-513910(P2019-513910A)

【公表日】令和1年5月30日(2019.5.30)

【年通号数】公開・登録公報2019-020

【出願番号】特願2018-551923(P2018-551923)

【国際特許分類】

D 01 F 6/96 (2006.01)

C 08 G 59/50 (2006.01)

B 01 D 39/16 (2006.01)

D 01 D 5/04 (2006.01)

【F I】

D 01 F 6/96

C 08 G 59/50

B 01 D 39/16 A

D 01 D 5/04

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月11日(2020.3.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

微細纖維を作製するための方法であって、前記方法が、

ポリマー成分を備える工程であって、前記ポリマー成分は、4-ビニルピリジン含有ポリマーを含む、工程；

4-ビニルピリジンとは錯体を形成しない溶媒を備える工程；

エポキシを備える工程であって、前記エポキシは、少なくとも二官能性である工程；ならびに

前記ポリマー成分、前記溶媒、および前記エポキシを組み合わせて、組成物を形成させ、前記組成物から複数の纖維を形成させて、前記組成物からそれぞれの纖維の全体が形成されるようにする工程、を含み、

前記4-ビニルピリジン含有ポリマーと前記エポキシは、前記組成物の温度を80より上に上げることなく反応する、方法。

【請求項2】

前記ポリマー成分、前記溶媒、および前記エポキシを室温で組み合わせ、前記4-ビニルピリジン含有ポリマーと前記エポキシは反応し、前記組成物の温度を室温より上に上げることなく、前記複数の纖維を形成させる、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ポリマー成分、前記溶媒、および前記エポキシを組み合わせて、組成物を形成させること、および前記組成物から複数の纖維を形成させることが、同時に実施される、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

前記ポリマー成分、前記溶媒、および前記エポキシを組み合わせて、組成物を形成させ、前記組成物から複数の纖維を形成させる工程は、

前記ポリマー成分、前記溶媒、および前記エポキシを混合する工程；  
前記4-ビニルピリジン含有ポリマーとエポキシとを反応させる工程；ならびに  
前記溶媒の少なくとも一部を除去する工程  
を含む、請求項1ないし3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

コーティングされた微細纖維を作製するための方法であって、前記方法が、  
ポリマー成分を備える工程であって、前記ポリマー成分は、4-ビニルピリジン含有ポ  
リマーを含む、工程；  
4-ビニルピリジンとは錯体を形成しない溶媒を備える工程；  
エポキシを備える工程であって、前記エポキシは、少なくとも二官能性である、工程；  
纖維を備える工程；ならびに  
前記ポリマー成分、前記溶媒、および前記エポキシを組み合わせて、組成物を形成させ  
、前記組成物を用いて前記纖維をコーティングする工程、を含み、  
前記4-ビニルピリジン含有ポリマーと前記エポキシは、前記組成物の温度を80  
より上に上げることなく反応する、方法。